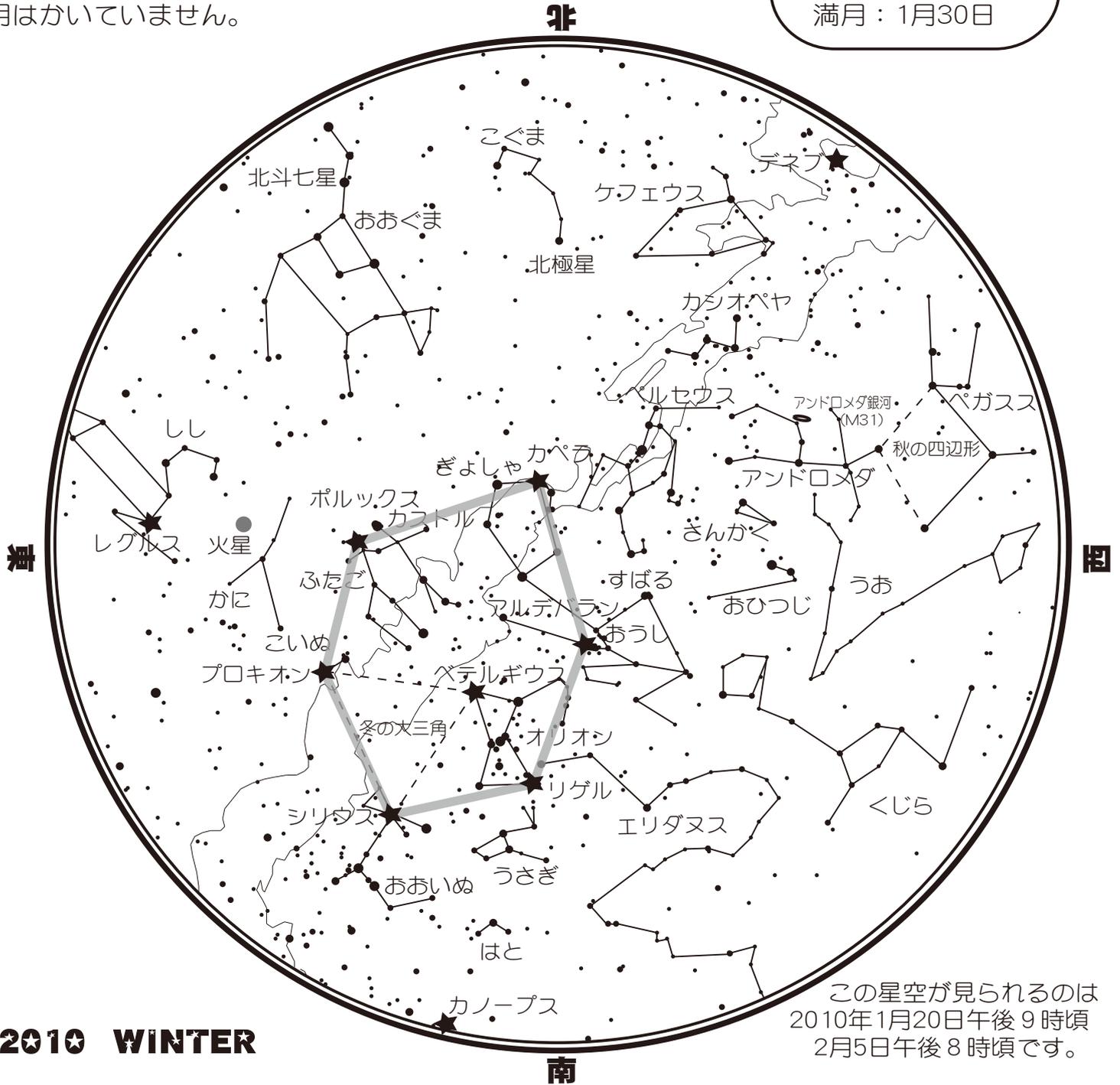


★ 姫路で見る1月後半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

新月：1月15日
上弦：1月23日
満月：1月30日



この星空が見られるのは
2010年1月20日午後9時頃
2月5日午後8時頃です。

2010 WINTER

★冬のキラキラ星

冬の星座は明るい星がたくさんあります。頭の上にはおうしの姿があり、目にはアルデバランが赤く輝きます。その肩には、星の集団すばる(プレアデス星団)があります。南の空に見える砂時計のような星並びは、狩人オリオンの姿です。その肩にはベテルギウス、足首にリゲルが輝きます。オリオンの左側には狩りを手伝う2匹の犬、おおいぬとこいぬがいます。おおいぬ座のシリウスとこいぬ座のプロキオン、オリオン座のベテルギウスを線で結んでできるのが『冬の大三角』です。

また、冬の星座の1等星をリゲル→シリウス→プロキオン→ポルックス→カペラ→アルデバランと順番にたどってできる六角形を『冬のダイヤモンド』とよんでいます。
夕暮れの空で一番星として輝くのは、太陽系最大の惑星、木星です。すっかり暗くなった頃には、東の空に赤く輝く火星を見ることが出来ます。太陽の周りを回る惑星たちは、少しずつ見える場所が変わります。星座の星と間違えないように探してみてください。